



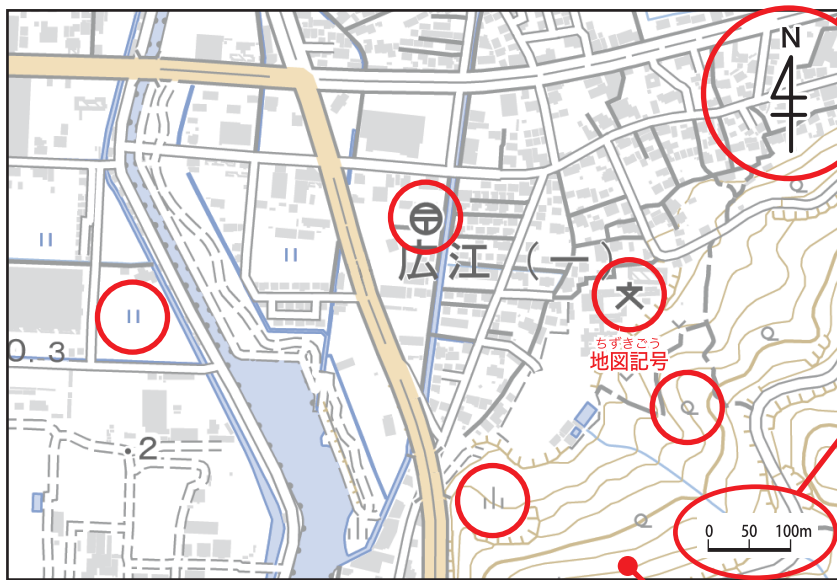
すたペンドリル 地図を読む 1

地図の読み取り方

地図が読めると、道路や鉄道、建物の位置などが把握できるので、知らない場所でも迷わず目的地に到着できます。
他にも、地形や土地利用など様々な情報を読み取ることができます。

いえ がっこう ちか 家や学校の近くの ちず よ 地図も読んでみよう

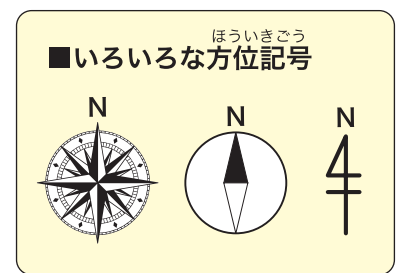
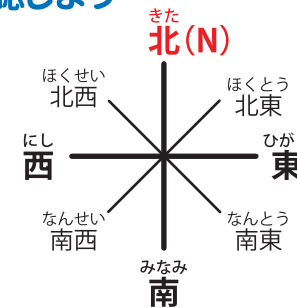
地図を読むポイント



※1

方位(方向)を確認しよう

地図の多くは北が上ですが、異なる場合があります。
まず方位記号を見て、東西南北の方位を確認しましょう。



地図の距離と縮尺

実際の距離を縮めて地図にあらわした割合のことを縮尺といいます。
地図の端のスケールバーで、実際の距離を知ることができます。

スケールバーの縮尺はいろいろ ※2

まんぶん 1万分の1	0 100 200m	センチメートル メートル あらわ 1cmで100mを表す
まん せんぶん 2万5千分の1	0 500m 1km	センチメートル キロメートル あらわ 4cmで1kmを表す
まんぶん 100万分の1	0 10 20km	センチメートル キロメートル あらわ 1cmで10kmを表す
まんぶん 300万分の1	0 30 60km	センチメートル キロメートル あらわ 1cmで30kmを表す

方位と縮尺を確認

方位記号で方角を確認する。
スケールバーで距離を把握する。

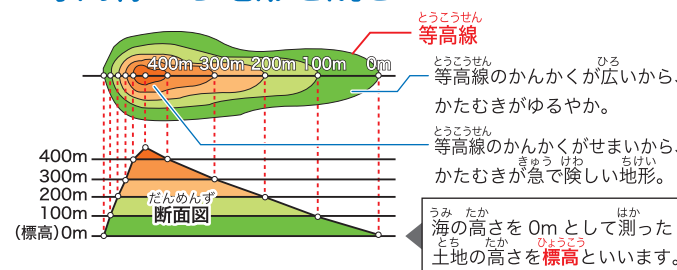
地図記号から建物・交通などを確認

駅や学校など、施設の位置を確かめる。
道路や鉄道の通り方を確認する。

土地の様子を読み取る

凡例を確認し、地図の色・もよう・等高線を確認。土地利用、土地の高低や海・川の様子などを読み取る。

等高線から地形を読む



同じ標高の地点を結んだ線を等高線といい、地形の様子を読み取ることができます。

※1 国土地理院ウェブサイト (<https://maps.gsi.go.jp/>) の地理院タイルを加工して作成 ※2 ご利用のパソコン環境によっては、縮尺が正しく表示されない場合があります